

まずはここから！ 中堅中小企業の事例から学ぶ ファイルサーバーをAWSで活用する 「意外に知らない」価値

萬代 猛

株式会社資産科学研究所
代表取締役

佐野 由布菜

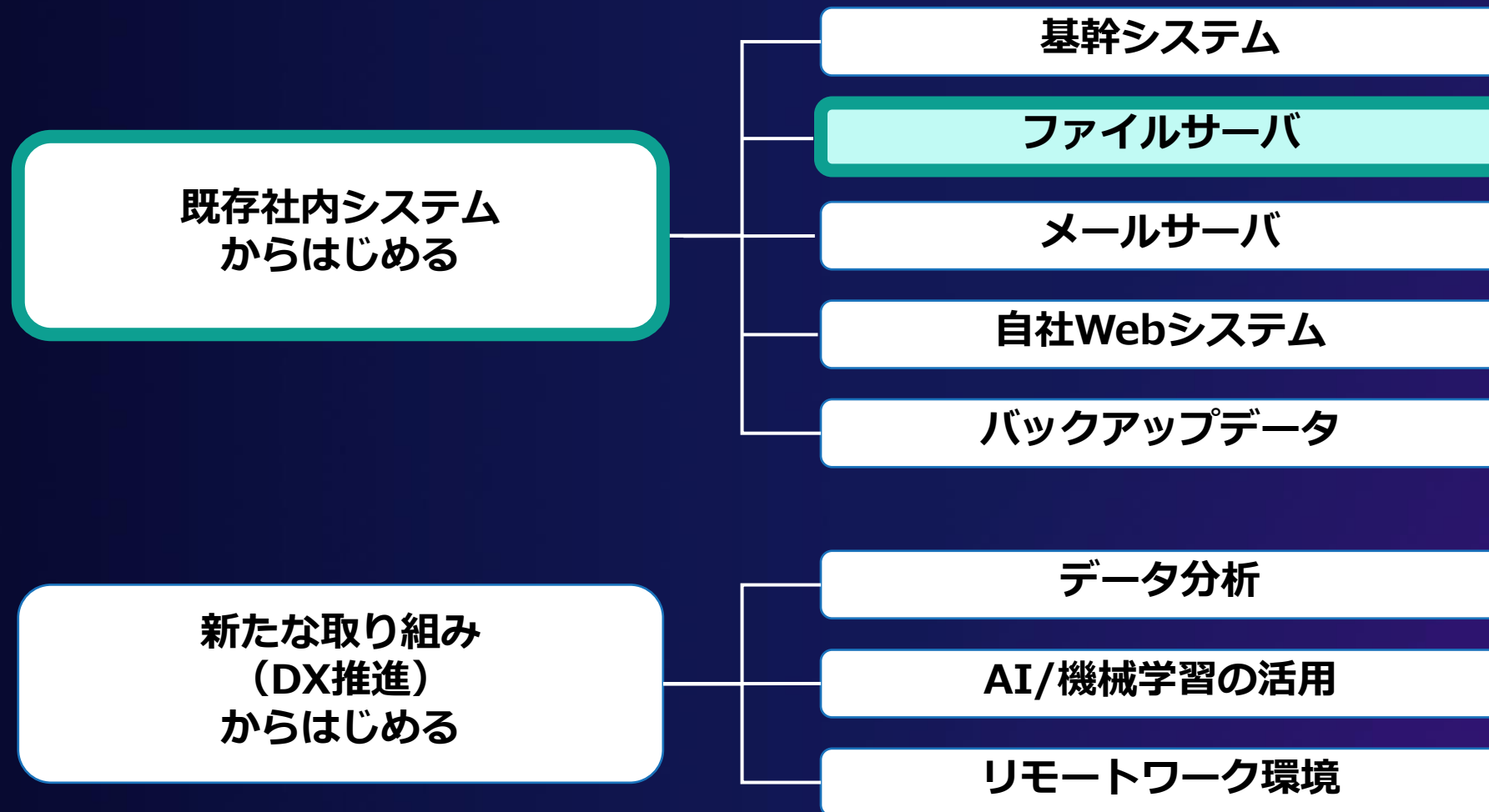
アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
広域事業統括本部 アカウントマネージャー

中堅中小企業における クラウドの価値

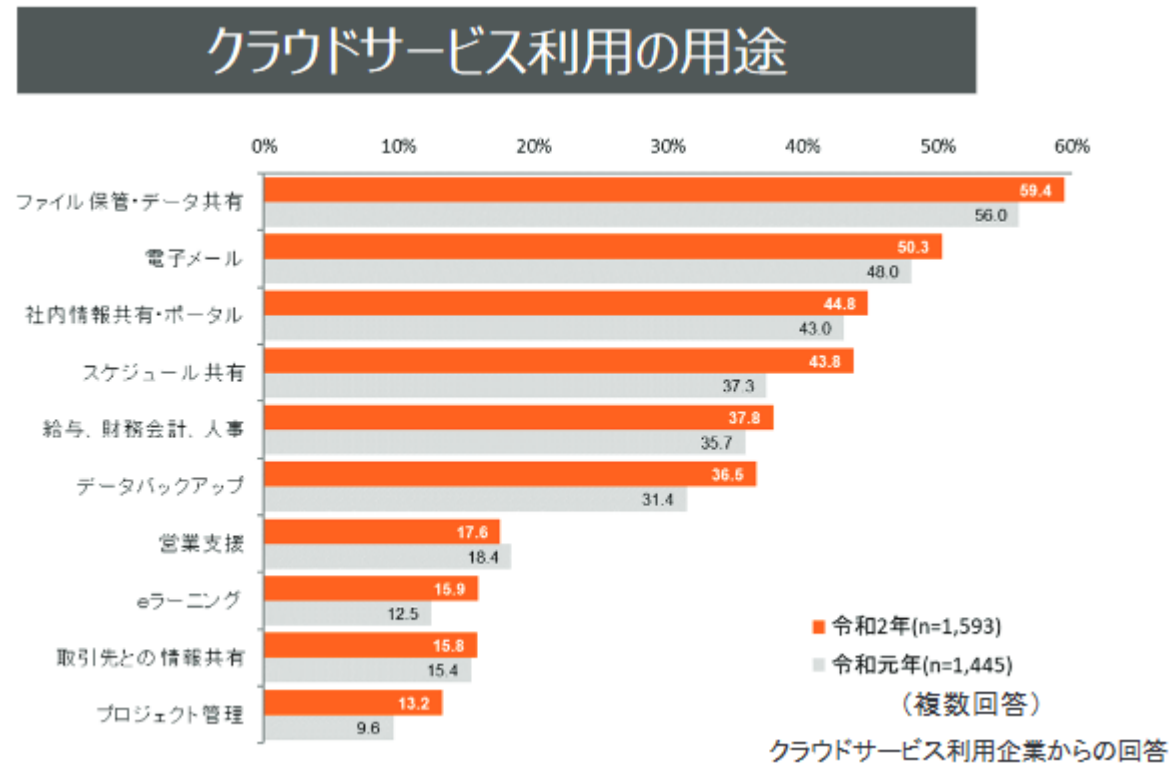


クラウドをどこからはじめるか？

クラウドの始め方は大きく2通りあり、選択肢となるシステムは様々。
その中でも始めやすく、移行メリットが大きいファイルサーバーから始めるという声が多い。



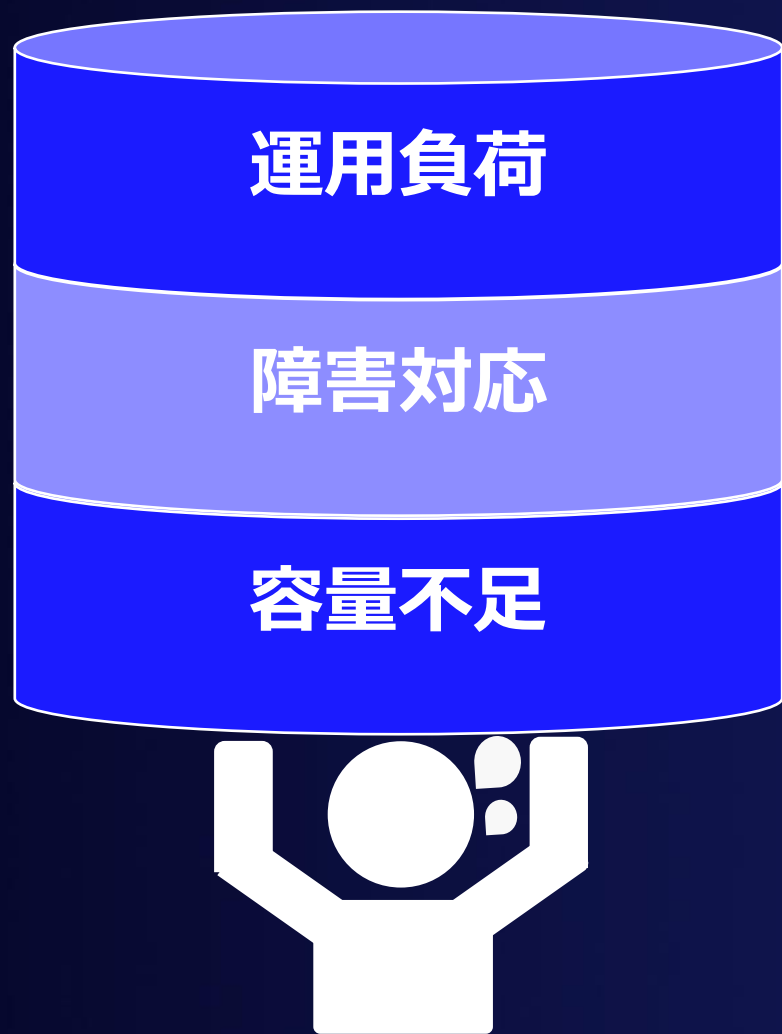
クラウドの利用用途で多いのは ファイル保管・データ共有



- クラウドサービス利用の用途としては「データ保管・データ共有」が最も多い。
- 利用する理由は、「場所、機器を選ばずに利用できる」や「資産、保守体制を社内に持つ必要がないから」が多い。

出典：総務省 通信利用動向調査結果（令和2年調査） -企業におけるクラウドサービスの利用状況-

オンプレミスでのファイルサーバにおける課題



「システム担当を兼務しているがサーバの面倒を見るので手一杯、本業に集中できない…」

「ディスクを冗長化しているが、頻繁に壊れてディスク交換に手間がかかっている…」

「ハードウェア障害により大切な業務データが破損してしまった…」

「社員の増加に伴いデータが増加する一方。都度ディスク拡張していかないと。しかも拡張限界が見えてきた…」

AWS を活用したファイルサーバ関連サービス

| サービス名 | Amazon EC2 | Amazon FSx for Windows File Server | Amazon WorkDocs |
|---------------|---|---|--|
| サービス概要 | AWSクラウド上の仮想サーバを利用出来る、AWSの基本サービス | 完全マネージド型のWindowファイルサーバを提供するサービス | 完全マネージド型のセキュアなエンタープライズストレージおよび共有サービス |
| ファイルサーバ利用イメージ | WindowsファイルサーバをAmazon EC2上に構築 | 既存のWindowsファイルサーバをそのままAmazon FSxに移行 | ファイルサーバを廃止して、Amazon WorkDocsに移行 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none">・構成や運用を移行可能・自由度が高い | <ul style="list-style-type: none">・構成や運用を移行可能・マネージドサービスなので運用をAWSに任せられる部分が多く、楽になる | <ul style="list-style-type: none">・コラボレーションツールとして多機能（フィードバック、通知、バージョン管理など） |
| 考慮すべき点 | <ul style="list-style-type: none">・バックアップや冗長構成を検討する必要がある | <ul style="list-style-type: none">・ADが必要 | <ul style="list-style-type: none">・ADが必要・従来のファイルサーバからの運用変更 |
| 導入と移行の容易性 | ○ | △ | ○ |
| 可用性 | △ | ○ | ○ |
| 拡張性 | △ | ○ | ○ |

本日のゲストスピーカー

萬代 猛 氏

株式会社資産科学研究所
代表取締役



株式会社 資産科学研究所

事業内容 総合コンサルティング業

従業員 4名

本社 東京都渋谷区

目的 ①顧客サービス品質の向上「即時処理」
②働き方改革「誰でも働きやすい環境を」

課題

- ・社内サーバーが見れない状況での業務中断
- ・コスト問題
- ・情報漏洩問題
- ・IT専任担当者不在をどの様に対策するか

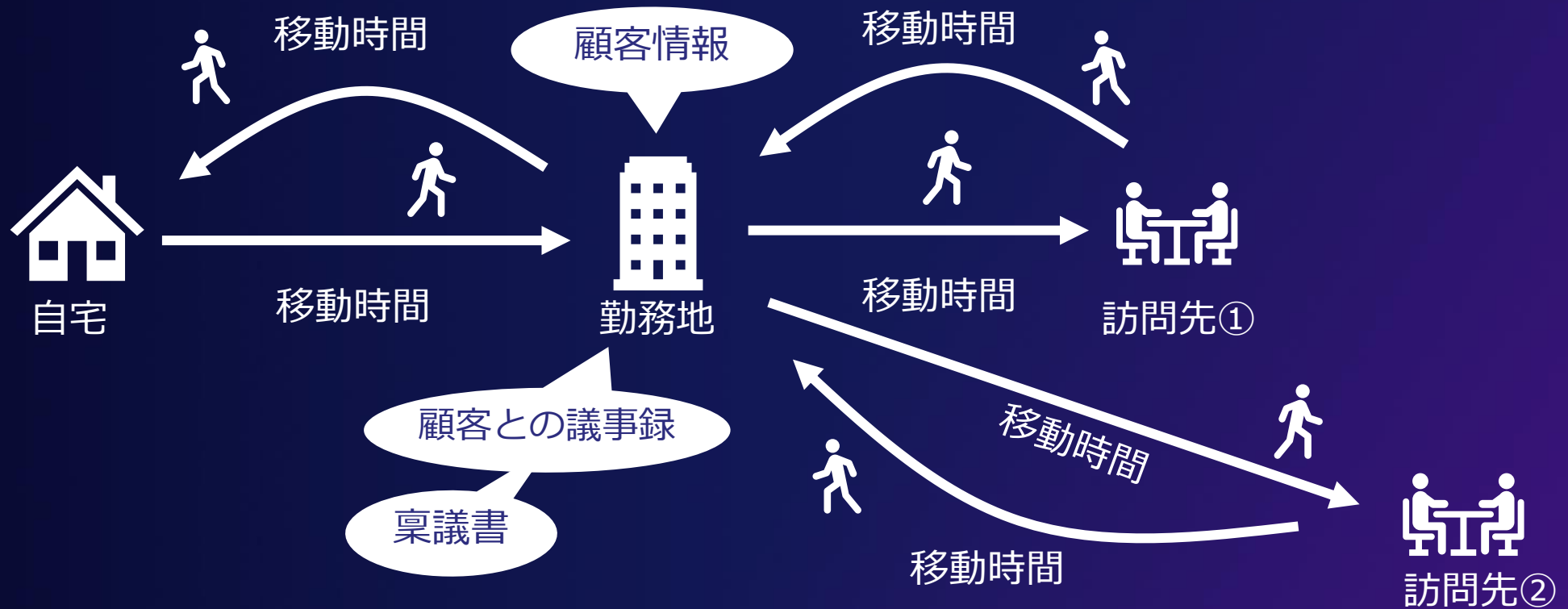
株式会社資産科学研究所
PROPERTY SCIENCE

導入の目的①

(導入前) 社内にオンプレミスのファイルサーバー (顧客情報)

⇒必ず社内に戻り対応する必要があった

⇒距離的障害によるサービス品質の低下・時間の無駄



導入の目的② まとめ

無理な要求・無駄な時間・心理負担の削減

- 1) スタッフへの依頼も距離の障壁がなくなり
無理な要求がなくなる
- 2) 不要な印刷物の削減（社内書類の完全ペーパーレス化）
- 3) 電子決裁システムの導入
- 4) 社内オンプレミスのファイルサーバー（顧客情報）のため
顧客提案資料印刷
また社内稟議等の確認のための移動時間の削減
- 5) 社内ファイルサーバー破損による復旧費用、業務停滞

課題と対応策

| 課題 | 検討事項・対応策 |
|-----------------------------------|--|
| 情報漏洩 ウィルス等による情報漏洩 社員による情報漏洩 | <ul style="list-style-type: none">・ 信頼性のある会社を選ぶ<ul style="list-style-type: none">①堅牢性を重視する②AWSと他社との比較③Amazonの利益顧客還元に対する感銘④一元化して構成できる会社・ IT資産管理ソフト（SKYSEA Client View）の導入・ ネットワークセキュリティ（VPN） |
| 専任担当者不在 | <ul style="list-style-type: none">・ 担当者のIT知識不足・ 兼務のため管理時間がとれない・ 担当者のみで構築しようとして断念（半年かかる） |
| 維持コスト | <ul style="list-style-type: none">・ 社員数名でも大企業なみの維持費がかかる ※AWSは利用分のみ |
| 利用者の利便性 | <ul style="list-style-type: none">・ 利便性とセキュリティ |



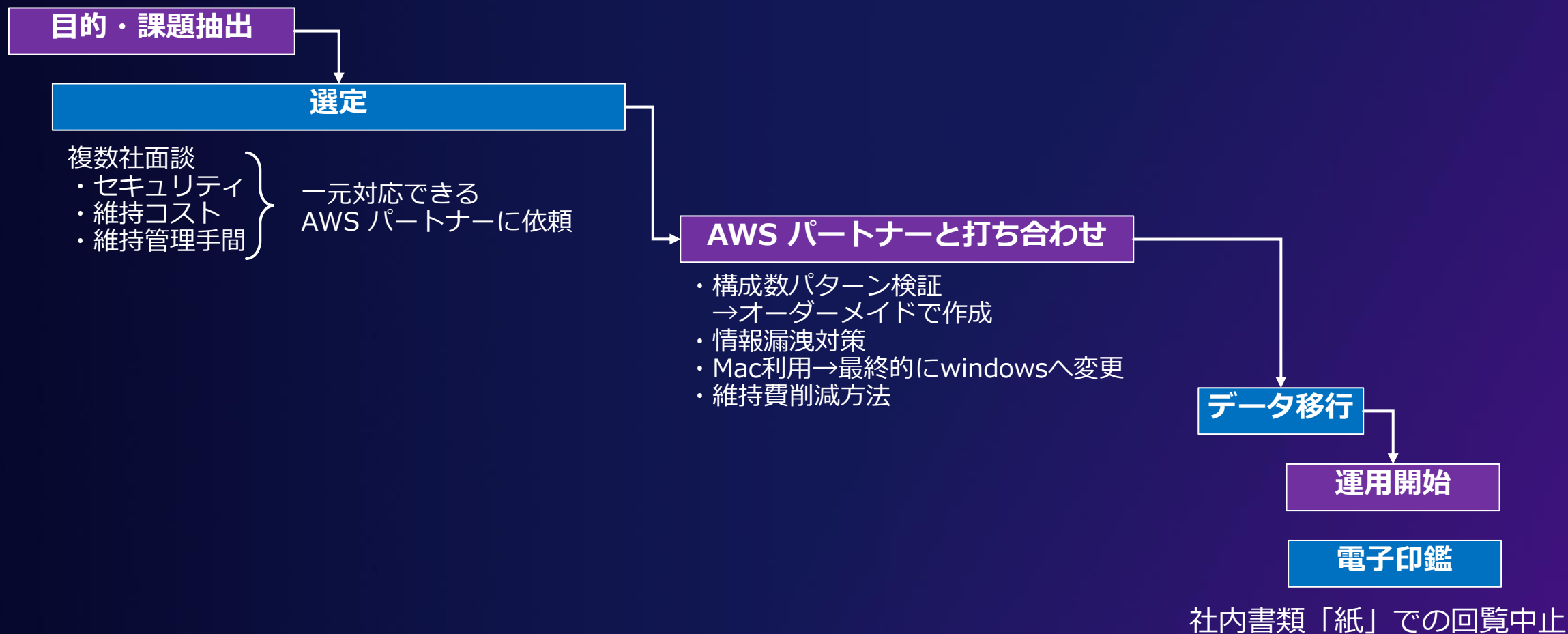
システム移行フロー

2019

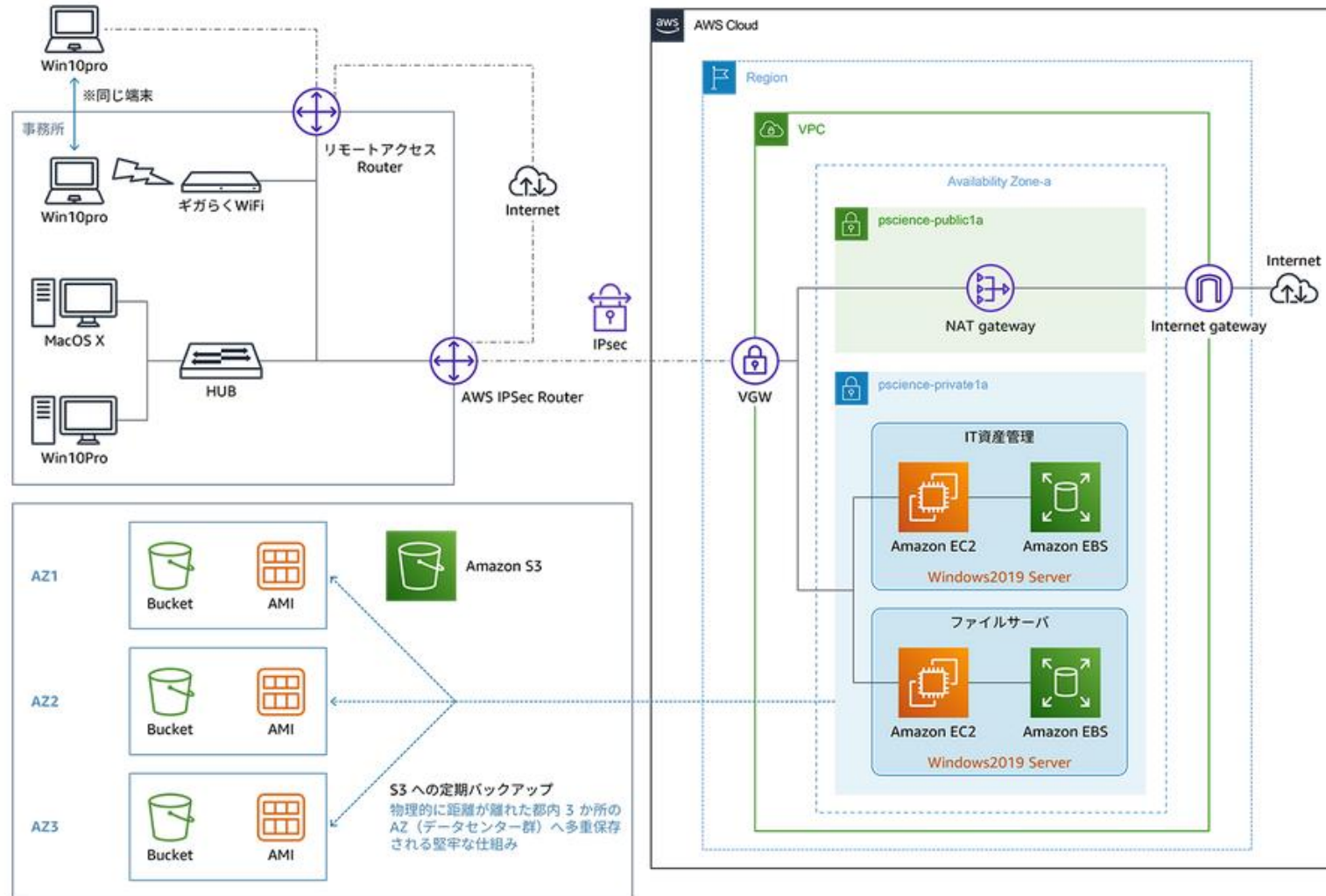
2019/10

2020

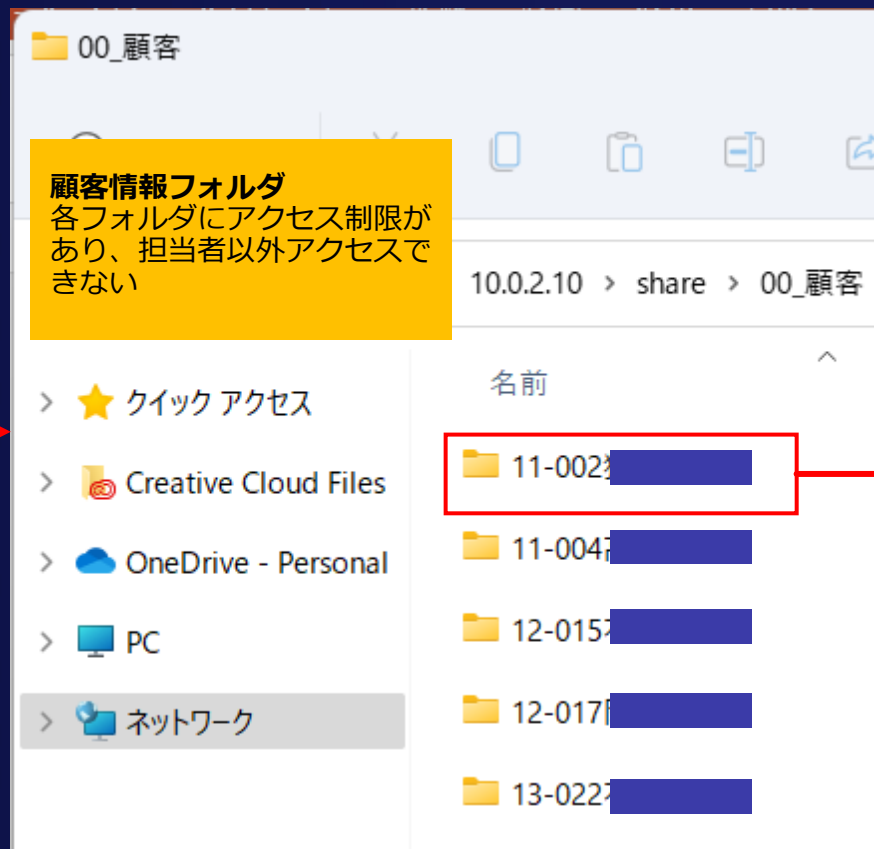
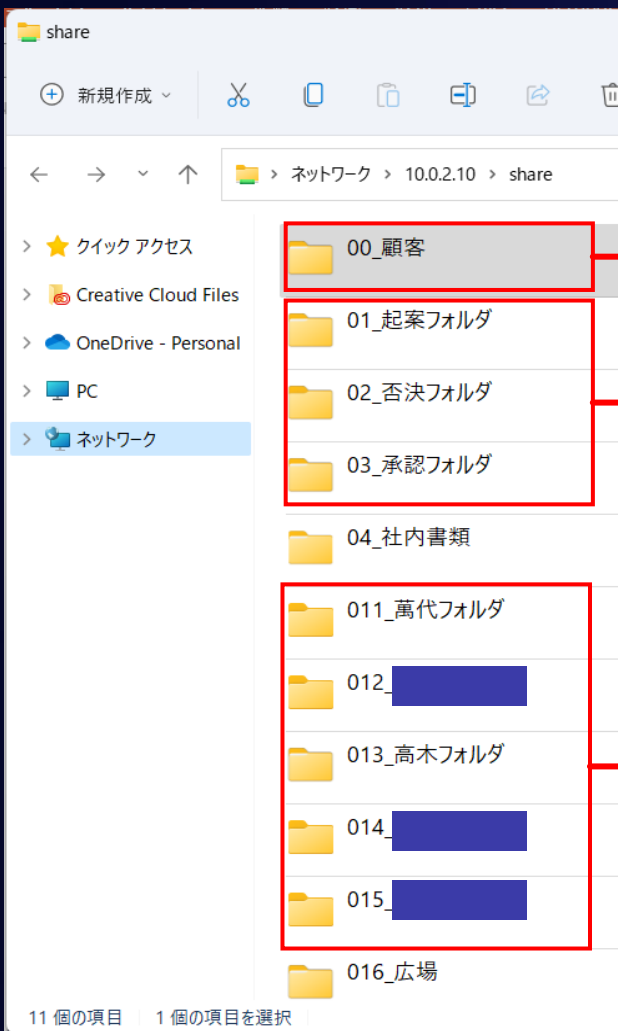
2020/6



システム構成



構成図



社内決裁回覧用フォルダ

社員個別フォルダ
作業中データ等はここに保存し
個々のパソコンにはデータを残さない
ようにする

- 1_提案資料
- 2_お預かり・取得資料
- 3_当社契約書類
- 4_議事録

お打合せ記録

| | | |
|-----|-----------|---|
| 様 | 年 月 日 () | ～ |
| | 打合せ場所 | |
| 参加者 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |



株式会社 資産科学研究所
PROPERTY SCIENCE

導入後の効果

1. リスクの低減

- ・ハードウェアの故障や運用を意識する必要がなくなる
- ・セキュアなクラウドに情報を格納することで「情報漏洩リスク」を低減

2. オンプレミス環境と変わらないアクセススピード

3. 場所を問わず顧客情報の閲覧や書類作成が可能に

- ・ライフサイクルや環境に応じた働き方を実現
- ・新型コロナウイルス感染症の蔓延時にスムーズな在宅ワークへシフト
- ・移動費用、印刷代、紙代の削減

今後の展望

デジタルとアナログの良さを 使い分けた働き方改革を推進

- ・ 執務室の概念を撤廃し、場所を選ばず
デスクワークができる環境を整備
- ・ 管理業務の効率化に向けて、
Amazon WorkMail の利用やAWS 上への
システム統合



まだ活用されていない方へのアドバイス

AWSは大企業のものだと思われ敷居が高いと思われがちですが、そんなことはないです。

自社での導入にハードルが高いと考えている場合は、AWS パートナーに相談することをお勧めします。

AWS 活用に躊躇されている中小企業の皆様へ、
安心して使えますので、お試しでもいいから一度使ってみてください

AWS導入支援お問い合わせ窓口

<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/>



Webサイト、Chat(平日9:00-17:00)にて導入
支援・お見積り・パートナー紹介のご相談可能

担当者より詳しくお電話等で詳しくヒアリング
させて頂き、個別のご提案をさせて頂きます

リモートにて無料でご相談いただけます



© 2022, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.



Thank you!

萬代 猛

株式会社資産科学研究所
代表取締役

佐野 由布菜

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
広域事業統括本部 アカウントマネージャー

